

(款) 10事業費 (項) 5下水道整備費 (目) 10終末処理施設費

◎終末処理施設の経費

施設整備事業

【 下水道課・浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 処理施設機能の回復及び増設により適正な処理を図るため。

効果 処理の安定化、施設の自動化・省力化を図る。

【事業の内容】

(1) 施設整備事業

- ・山崎浄化センターの水処理及び汚泥処理施設の増設設計を委託により実施した。
- ・老朽化した七里ガ浜浄化センター各施設の改築設計及び工事を委託により実施した。  
このうち20-21年度工事の20年度分の435,400千円を翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

山崎浄化センターの増設(5-6-1-③)

七里ガ浜浄化センターの改修(5-6-6-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,487,860	1,487,860	1,052,460	435,400	0
主な支出内訳				
・施設整備事業				
山崎下水道終末処理場実施設計業務委託料				12,000
七里ガ浜下水道終末処理場改築詳細設計業務委託料				30,000
七里ガ浜下水道終末処理場改築工事委託料(翌年度への繰越明許費)				1,010,460
主な特定財源				
・国県支出金				599,496
・地方債				402,915

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-42 施設整備事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	544 終末処理場施設整備事業							
主管課	下水道課	関連課	七里ガ浜浄化センター(浄化センター)						
分野名	下水道・河川								
目標 (目標値)	供用開始人口の増加に伴う水処理能力を確保する。 下水道終末処理場の水処理能力を56,000m <sup>3</sup> /日にする。								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	決算値	12,000千円	0千円	0千円	18年度、19年度につ いては都整-39に含 む。				
	(国・県)	6,300千円	0千円	0千円					
	(負担金等)	5,130千円	0千円	0千円					
	(一般財源)		0千円	0千円					
	人員配置数	0.6人	0.0人	0.0人					
	人件費	5,370千円	0千円	0千円					
事務事業 運営経費	協働の パートナー								
	総事業費	17,370千円	0千円	0千円	処理人口 18年 168,736人 19年 169,886人 20年 170,233人				
	市民1人当 りの経費	98円	0円	0円					
対象者1人 当りの経費	102円	0円	0円						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
汚水管渠整備率(延長)	○	目標値	99.00%	100%	100%	100%	100%		
		実績値	99.10%	99.30%					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
水洗化率	○	目標値	97.00%	97.50%	97.75%	98.00%	99.00%		
		実績値	92.02%	92.35%					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	鎌倉市	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市
H19整備率(面積)	96.26%	99.70%	99.30%	97.40%	94.90%	96.58%	79.63%	94.51%	100.00%
H19水洗化率	92.02%				94.58%	97.18%	89.05%	95.28%	97.30%
相模原市	泰野市	厚木市	大和市	伊勢原市	海老名市	座間市	南足柄市	綾瀬市	三浦市
	94.51%	77.79%	88.33%	92.08%	75.89%	96.38%	95.63%	93.16%	60.50%
	97.52%	87.67%	98.62%	94.79%	91.21%	98.55%	88.63%	98.78%	32.40%

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・下水道処理場の設計、整備には、機械、電気等の専門知識を有する職員が複数数名必要となる。 ・下水道処理場の増設は、他の下水道事業と整備時期の調整及び上位計画の「境川等流域別下水道整備総合計画」との整合を図りながら事業を進める必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・日本下水道事業団に委託することにより、職員の増員等を避けることができた。 ・今回の増設について、他の下水道事業と調整を図り増設計画を作成した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 今後の増設について、上位計画の「境川等流域別下水道整備総合計画」との整合を図りながら事業を進める必要がある。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後の増設についても、上位計画の「境川等流域別下水道整備総合計画」との整合性や処理場への汚水流入量の増加に伴った施設整備を日本下水道事業団に委託し、効率化を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	山崎浄化センターの増設は、上位計画との整合や汚水流入量の増加に伴った施設整備を日本下水道事業団に委託し行う。				
担当課長氏名:		下水道課長 大坪 隆			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	山崎浄化センターの増設については、他の事業や上位計画との調整を図りながら事業を進める。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)改修工事は既設設備を運転しながら更新するため技術的な問題が発生する。 (2)改修工事の国庫補助業務等の事務量の増加。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)毎週の工程会議開催や、施行方法、施工時期、仮設計画などについて市、事業団、施工業者、運転管理委託業者で綿密に打ち合わせ、一つ一つ問題を解決していった。 (2)国庫補助事務量の増加に対しては、維持管理業務を見直し、委託業者にある程度の責任を分担してもらい市職員の立会い業務を削減し対応した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)引き続き改修工事の国庫補助業務等事務量の増加。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)経験豊富な日本下水道事業団を利用し、業務量の増加に対応していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	維持管理に関する新技術等の採用により、サービスと質の向上を図る。				有
担当課長氏名:	浄化センター所長 原 秀広				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性
	施設改修は、建設費・維持管理費のコストを十分意識して進める。				有
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		